

事業者における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和2年2月

事業所名 千歳学園プリモ

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	課題等を踏まえ、改善目標や工夫していること
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	90%	10%		・4月からは津田校の開校も予定しており、より良い環境作りを引き続き行っていきます。
	②	職員の配置数は適切である	90%	10%		・より良い支援を提供するための職員を確保するとともに、今後は専門士とも連携できる体制の構築を進めていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	70%	30%		・手すり等は整備しているものの、構造上車椅子での利用は困難な状況です。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	100%			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	70%	30%		・ホームページ上で公表しているが、今後はさらに周知して頂けるようSNS等様々な媒体を活用していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10%	30%	60%	・外部評価の導入を検討するとともに、今後は病院、学校、企業等との提携を密にし子供たちの将来を見据えた支援を行います。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	90%		10%	・専門士からの意見も取り入れ様々な視点からの活動プログラムを立案していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	90%	10%		・スタッフミーティング等で行事予定や個々の課題等を話し合い統一した支援を行っていきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	10%	10%	・事前にリーダーを決め、朝礼時にリーダーを中心にその日の支援について打ち合わせ等を行っています。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	90%	10%		・リーダーを中心に終礼時に話し合い、申し送り簿を利用してその日休みの職員にも周知しています。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%			
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	80%	20%		・ガイドラインの基本活動にそって支援を行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%			
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	90%		10%	・学校や保護者様との連絡、情報交換と密に行い、どのような状況でも柔軟に対応できるように努めています。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10%	90%		・該当児なし
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	60%	40%		・関係機関とより一層連携することで相互理解を深めより良い支援を行っています。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	40%	60%		・将来を見据えた支援を行うため、卒業後の進学先や就職先等との連携を密にし、子供たちの可能性を拡げることのできる支援を行っています。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	50%	50%		・社外研修への積極的な参加を心掛けるとともに、様々な専門機関からの助言等を支援に活かしていきます。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	40%	30%	30%	・長期休みに限られてしまっているため、普段からそのような機会が持てるよう検討していきます。
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	10%	60%	30%	・積極的に参加していきます。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%			
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	40%	50%	10%	・相談や要望に対応し、ご家庭と当園で共通した支援を行えるよう取り組んでいます。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	90%	10%		・引き続きご理解いただけるように丁寧な説明を心掛けます。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	90%	10%		・助言等を含め、ご要望があれば専門士も交えて悩み等のご相談に対応していきます。

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	30%	20%	・保護者様同士が交流できるような場を今後も多く企画していきたいと考えています。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%			
	③⑤	個人情報に十分注意している	100%			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	20%	40%	40%	・企画していきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	30%	10%	・ご要望があれば保護者様にもご確認いただくとともに、職員に関しては毎月の社内研修等にも取り入れ周知していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	20%		・様々な状況を想定し、引き続き定期的に訓練を行っていきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	20%		・徹底し対応していきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%			